

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和4年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 総合評価

市	S	【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中でも、感染対策を行った上で小規模なイベントを数多く開催し、施設の魅力を高めている。 本施設の設置の趣旨を踏まえ、入居する工芸作家及び民話館の語り部とも連携しながら、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めている。 【課題、改善点等】 アンケートの回答者が少ないため、今後はより多くの施設利用者の声を吸い上げる手法の検討・実践をする必要がある。
---	---	---

指定 管理 者	S	【優れていると評価した点】 各種イベントを利用者の意見を取り入れ、改善を図った計画で実施したり、交流ホールの活用を行ったが、利用者数において、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、B評価となった。他については、指標を達成できたと考えている。 【課題、改善点等】 個人情報の保護についての取り組みを行わなかったため、早急に取り組む。また、利用者数については、新緑まつりなどのイベント時に駐車場の確保が非常に難しく、内容を限定する形で実施したことが、利用者数の増大に歯止めをかけたと思われる。今後も駐車場については、考えていかなければならない。
---------------	---	--

2. 施設利用の増減について

年間の施設利用者数は、前年度比101.7%の61,052人となり、指定管理者が設定した目標を上回った。新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、季節感のあるイベントや、地元工芸作家との連携による「丘のクラフト展」など特色のあるイベントを多く開催し、利用促進を図った点は評価できる。

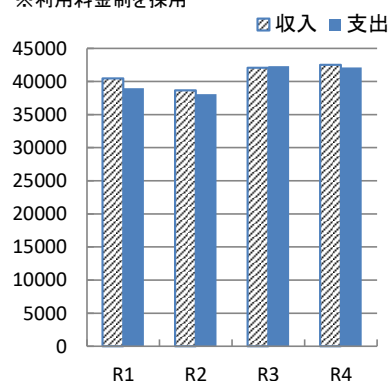
(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

項目\年度		R1	R2	R3	R4
施設の 収 支	収入	40,466	38,663	42,073	42,519
	うち指定管 理料	40,135	38,409	40,538	40,641
	うち 利用料	331	254	1,535	1,878
	支出	38,968	38,079	42,309	42,108
	差引	1,498	584	△ 236	411

上記以外の市の収入、支出

市の 収 支	収入(使用料)	71	58	78	76
	支出	21,347	32,563	4,212	2,901
	うち市の修 繕費	20,130	1,582	1,693	1,863

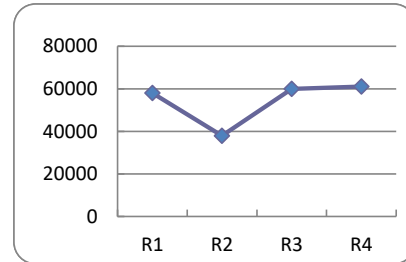
※利用料金制を採用



(2) 利用者の推移

(人)

R1	R2	R3	R4
58,014	37,954	60,003	61,052



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値

B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値

C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用人数(人)	53,871	61,003	61,052	100.1%	113.3%
	②モニタリングにおける顧客満足度(%)	70	70	94	133.9%	133.9%
	③工芸作家、民話館「とんとお話し会」との連携によるものづくり体験教室や民話の伝承	実施	実施	実施	—	—
	④新緑祭り(5月実施)(人)	2,500	3,000	3,976	132.5%	159.0%
	⑤夏祭り(7月実施)(人)	2,500	3,000	—	—	—
アウトカム	モニタリング調査における下記質問事項の肯定的割合(%) ・出雲地方の歴史や文化について関心が高まった。 ・学習の成果を活用したいと思う。 ・生涯にわたって学習したいと思う意欲がある。	70	70	75		
				達成度平均	122.2%	135.4%

達成度に対する意見	指定管理者	市
	新型コロナウイルス感染症拡大防止に引き続き務めながら、新緑まつり、夏祭りの代替とした1か月間のものづくりワークショップ、丘のクラフト展などを利用者の意見を取り入れた内容で実施した。また、施設の善良な管理に努めた。自然の森については、国の助成金等を活用し、市民が憩う森づくりを行った。次期に向けた課題としては、民話館の映像機器の老朽化に伴い、故障等が多発しており、また内容が時代に合わなくなっており、対応を協議していく必要がある。また、新緑まつりなどのイベント時に駐車場の確保が非常に難しく、内容を限定する形で実施せざるを得ないので、今後目標値を上回ることが困難になることも予想される。駐車場の確保に向けての協議も進めていきたい。	前年度に引き続き、令和4年度についても新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催について困難があったが、規模を小さくして複数回に分けるなどの工夫をすることで、目標値を上回ることができている。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
8	回答件数8件 回答項目内訳 全2項目中 ①満足している 15件(93.7%) ②どちらともいえない 件(0%) ③満足していない 1件(6.3%)	①良い ・森はすずしくてきれいでいい場所でした ・おひなさまがきれいだった 等 ②苦情 ・職員の対応について少し不満だった ③要望 なし

(4) 住民サービス向上の事例

令和3年度にオープンしたいろは舎を軸に「ものづくり」を意識した小規模イベントを開催し、関心を上げた

3. 自主事業

市の評価	コロナ禍において、運営方法を工夫し、季節イベントや、丘のクラフト展などを自粛することなく開催し、市民の方々から好評を得た。また、いろは舎を軸に「ものづくり」を意識した小規模イベントを開催し、市民の方々から好評を得た。 かんべの24節気暦は、旧暦の節句を意識した催しへの関心や、山陰中央新報の「さんいん24節気暦」の連載へとつながり、紙面を通じてかんべの里の豊かな自然を広く伝えることができた。 平日開催の「里山ウォーキング」は、事前を愛する方々がリポートするなど、一年で定着した。
実施状況	新型コロナウイルス感染症の影響による制限があるなか、小規模にするなどの工夫をし、概ね予定どおり開催できた。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	指定管理者 評価	松江市 評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	B	B
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A	A
広報活動	A	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	A	A
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A	A
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	C	C
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A	A
清掃業務	A	A
機械設備等の保守点検	A	A
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A	A
松江市への報告	A	A
労働安全衛生	A	A
施設の巡視	A	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A	A
備品の管理	A	A